

令和2年度三重県計画に関する 事後評価

**令和3年10月
三重県**

| | | |
|-------------------|---|-----------------------------------|
| 事業の区分 | 2 居宅等における医療の提供に関する事業 | |
| 事業名 | 【No. 18 (医療分)】 地域口腔ケアステーション機能充実事業 | 【総事業費 (計画期間の総額)】 119,058 千円 |
| 事業の対象となる区域 | 桑員区域・三泗区域・鈴亀区域・津区域・伊賀区域・松阪区域・伊勢志摩区域・東紀州区域 | |
| 事業の実施主体 | 三重県 (県歯科医師会・県歯科衛生士会・三重大学委託)、 郡市歯科医師会 | |
| 事業の期間 | 令和2年4月1日～令和4年3月31日 □継続 / <input checked="" type="checkbox"/> 終了 | |
| 背景にある医療・介護ニーズ | 地域包括ケアシステムの構築において、今後、在宅患者等の増加が見込まれるが、口腔ケアが全身の健康にも影響を与えることから、適切な医療・介護サービスが供給できるよう、医科と歯科の連携や介護サービスとの連携により、口腔ケアサービス提供体制の強化が必要である。 アウトカム指標：在宅療養支援歯科診療数 145 機関 (令和元年度) を令和3年度までに 165 機関に増加させる。 | |
| 事業の内容 (当初計画) | 地域の歯科保健医療資源が十分に機能し活用されるよう、地域ごとに口腔ケアステーションを設置し、医療・介護関係者等と連携を図り、全ての県民に対する歯科保健医療サービスの提供体制の充実と歯科疾患予防、介護予防等の効果的な取組実施に向けた体制整備を行う。 | |
| アウトプット指標 (当初の目標値) | 地域口腔ケアステーション数 9 か所 (R2.3) を 10 か所 (R3.3) にする。 | |
| アウトプット指標 (達成値) | 地域口腔ケアステーション数 9 か所 (R3.3) | |
| 事業の有効性・効率性 | 事業終了後1年以内のアウトカム指標：在宅療養支援歯科診療数 145 機関 (令和元年度) を令和3年度までに 165 機関に増加させる。 令和2年度 195 機関 (目標達成) (1) 事業の有効性 地域口腔ケアステーションを設置し、ネットワーク会議の開催やサポートマネージャーの配置などにより、各地域で医療・介護関係者が連携して口腔ケアに取り組む体制の整備を図った。 (2) 事業の効率性 在宅医療対策について、人づくり、体制づくり、意識づくりの観点から各種取組を進め、多職種による在宅医療・介護連携の体制整備が一定程度進めることができた。 | |
| その他 | | |

| | | |
|-------------------|---|-----------------------------------|
| 事業の区分 | 4. 医療従事者の確保に関する事業 | |
| 事業名 | 【No. 26 (医療分)】 地域医療支援センター運営事業 (三重県医師修学資金貸与制度) | 【総事業費 (計画期間の総額)】 428,500 千円 |
| 事業の対象となる区域 | 桑員区域、三泗区域、鈴亀区域、津区域、伊賀区域、松阪区域、伊勢志摩区域、東紀州区域 | |
| 事業の実施主体 | 三重県 | |
| 事業の期間 | 令和2年4月1日～令和4年3月31日 <input type="checkbox"/> 継続 / <input checked="" type="checkbox"/> 終了 | |
| 背景にある医療・介護ニーズ | <p>三重県内の医師数は全国平均を下回っており、県内で勤務する医師を確保するため医学生を対象とした修学資金の貸付による医師確保対策が必要である。</p> <p>アウトカム指標：修学資金を貸与し、令和2年度中に大学を卒業した者の県内での義務勤務開始率を100%にする。(令和元年度中に大学を卒業した者の県内での義務勤務開始率：100%)</p> | |
| 事業の内容 (当初計画) | 県内で地域医療に従事する医師の育成並びに確保を目的に、将来県内で勤務する意思のある地域卒医学生等に対して、卒業後一定期間県内勤務を行うことで、貸与額全額が返還免除となる修学資金を貸与する。 | |
| アウトプット指標 (当初の目標値) | 貸付者総数 731 人 (令和元年度) を 776 人 (令和2年度) にする。なお、この増分には、三重大学地域卒入学者 (定員 35 名、うち臨時定員 20 名) を含む) | |
| アウトプット指標 (達成値) | 貸付者総数 731 人 (令和元年度) が 778 人 (令和2年度) となった。 | |
| 事業の有効性・効率性 | <p>事業終了後1年以内のアウトカム指標：義務勤務開始率 観察できた→令和2年度末に大学を卒業した者の県内での義務勤務開始率は100%だった。</p> <p>(1) 事業の有効性 修学資金の貸与により、医学生の県内就業を促し、県内の地域医療に従事する医師の育成並びに確保を図ることができる。</p> <p>(2) 事業の効率性 三重大学医学部医学科を中心に本制度について周知を行うことで、卒業後県内で勤務する意思のある地域卒医学生等に対して適切に貸付を行うことができた。</p> | |
| その他 | | |

| | | |
|------------------|---|---------------------------------|
| 事業の区分 | 6. 勤務医の労働時間短縮に向けた体制の整備に関する事業 | |
| 事業名 | 【No. 64 (医療分)】 地域医療勤務環境改善体制整備事業 | 【総事業費 (計画期間の総額)】 9,299 千円 |
| 事業の対象となる区域 | 津区域 | |
| 事業の実施主体 | 三重県内医療機関 | |
| 事業の期間 | 令和2年4月1日～令和4年3月31日 <input type="checkbox"/> 継続 / <input checked="" type="checkbox"/> 終了 | |
| 背景にある医療・介護ニーズ | <p>本県においては医師数（人口10万対）が全国下位に位置しているなど、その確保がきわめて重大な課題となっていることから、医師の離職防止、職場定着促進を図るため、2024年4月からの医師に対する時間外労働の上限規制の適用開始に向け、医師の労働時間短縮を進める必要がある。</p> <p>アウトカム指標：勤務医の労働時間短縮に向けた総合的な取組に要する経費を支援することで、勤務医の労働時間短縮、勤務医の働き方改革の推進を図る。</p> | |
| 事業の内容（当初計画） | 医師の労働時間短縮に向けた取組を総合的に実施する事業のために必要な費用を支援する。 | |
| アウトプット指標（当初の目標値） | 補助対象医療機関を1箇所以上とする。 | |
| アウトプット指標（達成値） | 補助対象医療機関を1箇所選定し、補助した。 | |
| 事業の有効性・効率性 | <p>事業終了後1年以内のアウトカム指標：勤務医の労働時間短縮、勤務医の働き方改革の推進を図る。 →観察できた。補助対象医療機関では勤務医の負担軽減の計画を策定し、労働時間短縮に取り組むことができたため。</p> <p>（1）事業の有効性 労働時間削減の必要性は理解されていても、実際の取組となると医療機関単独では実施しにくいなかで、本事業によって取り組み始めることができるため有効性は高い。</p> <p>（2）事業の効率性 補助対象医療機関に合った、労働時間短縮に必要な取組を組み合わせ、効率的に時間外削減に取り組むことができた。</p> | |
| その他 | | |

| | | |
|--|--|-----------------------------------|
| 事業の区分 | 3. 介護施設等の整備に関する事業 | |
| 事業名 | 【No. 1 (介護分)】 三重県介護サービス施設・設備整備推進事業 | 【総事業費 (計画期間の総額)】 574,695 千円 |
| 事業の対象となる区域 | 桑員地域・三泗地域・鈴亀地域・津地域・伊賀地域・松阪地域・伊勢志摩地域・東紀州地域 | |
| 事業の実施主体 | 三重県 | |
| 事業の期間 | 令和2年4月1日～令和4年3月31日 <input type="checkbox"/> 継続 / <input checked="" type="checkbox"/> 終了 | |
| 背景にある医療・介護ニーズ | 地域の実情に応じた介護サービス提供体制の整備を促進する。 アウトカム指標：令和2年度末地域密着型特別養護老人ホーム定員 予定数1,119床 | |
| 事業の内容 (当初計画) | ①地域密着型サービス施設等の整備に対する助成を行う。 | |
| | ②介護施設等の開設・設置に必要な準備経費に対して支援を行う。 | |
| | 整備予定施設等 | |
| | 介護老人福祉施設 (定員30人以上) 及び併設されるショートステイ用居室 | 246床 |
| | 認知症高齢者グループホーム | 27床 |
| | 小規模多機能型居宅介護事業所 | 11床 |
| | 定期巡回・随時対応型訪問介護看護事業所 | 1事業所 |
| | 看護小規模多機能型居宅介護事業所 | 7床 |
| | ③介護施設等の整備に必要な定期借地権設定のための一時金に対して支援を行う。 | |
| | ④介護サービスの改善を図るための既存施設等の改修に対して支援を行う。 | |
| 整備予定施設等 | | |
| 既存の特養多床室のプライバシー保護のための改修 | 139床 | |
| ⑤新型コロナウイルスの感染拡大を防止する観点から、介護施設等へ配布する消毒液等の卸・販社からの一括購入、介護施設等の消毒、高齢障害者向けの感染症予防の広報・啓発、介護施設等への簡易陰圧装置・換気設備の設置を行う。 | | |

| | |
|-------------------------|---|
| <p>アウトプット指標（当初の目標値）</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・地域包括ケアシステムの構築に向けて、第7期介護保険事業支援計画等において予定している地域密着型サービス施設等の整備を行う。 ・地域密着型介護老人福祉施設併設のショートステイ 1カ所（10床）増 ・認知症高齢者グループホーム 4カ所（45床）増 ・定期巡回・随時対応型訪問介護・看護事業所 1カ所増 ・看護小規模多機能型居宅介護事業所 1カ所（7床）増 |
| <p>アウトプット指標（達成値）</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・地域包括ケアシステムの構築に向けて、第7期介護保険事業支援計画等において予定している地域密着型サービス施設等の整備を行う。 ・地域密着型介護老人福祉施設併設のショートステイ 0カ所 ・認知症高齢者グループホーム 3カ所（36床）増（1カ所（9床）は繰越） ・定期巡回・随時対応型訪問介護・看護事業所 1事業所増 ・看護小規模多機能型居宅介護事業所 1カ所（7床）増 |
| <p>事業の有効性・効率性</p> | <p>事業終了後1年以内のアウトカム指標：令和2年度末地域密着型特別養護老人ホーム定員予定数1, 119床</p> <p>（1）事業の有効性 認知症高齢者や中重度の要介護者、ひとり暮らしの高齢者等が住み慣れた地域で生活出来るなど、地域において提供できる体制の整備が進んだ。</p> <p>（2）事業の効率性 地域密着型サービス施設等の整備及びプライバシー保護に係る改修の推進のため、広く本事業を周知し、効率的に事業を進めた。</p> |
| <p>その他</p> | <p>R2:120,135千円 R3:454,560千円</p> |

| | | |
|------------------|---|------------------|
| 事業の区分 | 5. 介護従事者の確保に関する事業 | |
| | (大項目) 基盤整備 (中項目) 基盤整備 (小項目) 介護人材確保対策連携強化事業 | |
| 事業名 | 【NO.1 (介護分)】 介護人材確保対策連携強化事業 | 【総事業費】 210 千円 |
| 事業の対象となる区域 | 桑員地域・三泗地域・鈴亀地域・津地域・伊賀地域・松阪地域・伊勢志摩地域・東紀州地域 | |
| 事業の実施主体 | 三重県 (三重県社会福祉協議会に委託) | |
| 事業の期間 | 令和2年4月1日～令和4年3月31日 <input type="checkbox"/> 継続 / <input checked="" type="checkbox"/> 終了 | |
| 背景にある医療・介護ニーズ | 介護人材需給推計では、令和2年度の介護職員の需要見込みは、32,513人であるが、供給見込みは30,876人であり、1,637人の需給ギャップが生じると推計されている。 | |
| | アウトカム指標：県内の介護職員数27,818人(平成29年度)を令和2年度までに32,513人にする。 | |
| 事業の内容(当初計画) | 介護従事者の確保・定着に向けた取組を実施するため、行政、事業者団体、職能団体等で構成する協議会を設置し、連携・協働の推進を図りつつ、普及啓発・情報提供・人材確保・就労環境改善など幅広い検討を行う。 | |
| アウトプット指標(当初の目標値) | 介護人材確保対策連携強化のための協議会を4回程度開催する。 | |
| アウトプット指標(達成値) | 令和2年度は、介護従事者の確保・定着に関する取組を検討する協議会を3回開催した。 | |
| 事業の有効性・効率性 | 事業終了後1年以内のアウトカム指標：県内の介護職員数27,818人(平成29年度)を令和2年度までに32,513人にする。 観察できなかった→統計調査の結果が公表されていないため確認できなかった。代替的な指標として令和元年度の県内の介護職員数28,925人 | |
| | <p>(1) 事業の有効性</p> <p>介護人材の確保・定着について協議するため、行政、事業者団体、職能団体等で構成される協議会を設置し、各構成団体の取組の情報共有や意見交換を行うことで、今後の取組につなげることができた。</p> <p>(2) 事業の効率性</p> <p>介護人材確保に関する取組を効果的かつ効率的に実施していくため、行政、事業者団体、職能団体等で連携して開催した。</p> | |
| その他 | R2:108千円 R3:102千円 | |

| | | |
|------------------|--|---------------------|
| 事業の区分 | 5. 介護従事者の確保に関する事業 | |
| | (大項目) 参入促進 (中項目) 介護人材の「すそ野の拡大」 (小項目) 地域住民や学校の生徒に対する介護や介護の仕事の理解促進事業 | |
| 事業名 | 【No. 2 (介護分)】 福祉・介護の魅力発信事業 | 【総事業費】 23,074 千円 |
| 事業の対象となる区域 | 桑員地域・三泗地域・鈴亀地域・津地域・伊賀地域・松阪地域・伊勢志摩地域・東紀州地域 | |
| 事業の実施主体 | 三重県 (三重県社会福祉協議会に委託) | |
| 事業の期間 | 令和2年4月1日～令和4年3月31日 <input type="checkbox"/> 継続 / <input checked="" type="checkbox"/> 終了 | |
| 背景にある医療・介護ニーズ | 介護人材需給推計では、令和2年度の介護職員の需要見込みは、32,513人であるが、供給見込みは30,876人であり、1,637人の需給ギャップが生じると推計されている。 | |
| | アウトカム指標：県内の介護職員数27,818人(平成29年度)を令和2年度までに32,513人にする。 | |
| 事業の内容(当初計画) | 県内の中学校・高等学校への訪問及び生徒・保護者・教職員を対象とした福祉・介護の仕事に関する魅力を発信するための「福祉の仕事セミナー」等を実施し、福祉・介護分野への若い人材の参入を促進する。 | |
| アウトプット指標(当初の目標値) | 県内の小学校・中学校・高等学校への訪問40校程度、セミナーの開催30回(2000名受講)程度実施する。 | |
| アウトプット指標(達成値) | 県内の小学校・中学校・高等学校52校へ訪問し、セミナーの開催15回、316人が受講した。 | |
| 事業の有効性・効率性 | 事業終了後1年以内のアウトカム指標：県内の介護職員数27,818人(平成29年度)を令和2年度までに32,513人にする。 観察できなかった→統計調査の結果が公表されていないため確認できなかった。代替的な指標として令和元年度の県内の介護職員数28,925人 | |
| | <p>(1) 事業の有効性</p> <p>学校訪問・セミナーを実施し、学生・教職員・保護者に対して福祉・介護の理解促進と関心・興味を深めることができた。</p> <p>(2) 事業の効率性</p> <p>学校長・福祉担当教員にセミナーの具体的な内容を伝え、土曜授業や福祉体験の事前学習、現場学習等幅広く実施した。</p> | |
| その他 | R2 : 12,950 千円 R3 : 10,124 千円 | |

| | | |
|------------------|---|---------------------|
| 事業の区分 | 5. 介護従事者の確保に関する事業 | |
| | (大項目) 参入促進 (中項目) 介護人材の「すそ野の拡大」 (小項目) 地域住民や学校の生徒に対する介護や介護の 仕事の理解促進事業 | |
| 事業名 | 【No. 3 (介護分)】 介護職員初任者研修資格取得支援事業 | 【総事業費】 29,722 千円 |
| 事業の対象となる区域 | 桑員地域・三泗地域・鈴亀地域・津地域・伊賀地域・松阪地域・伊勢志摩地域・東紀州地域 | |
| 事業の実施主体 | 三重県 (三重県社会福祉協議会に委託) | |
| 事業の期間 | 令和2年4月1日～令和4年3月31日 <input type="checkbox"/> 継続 / <input checked="" type="checkbox"/> 終了 | |
| 背景にある医療・介護ニーズ | 介護人材需給推計では、令和2年度の介護職員の需要見込みは、32,513人であるが、供給見込みは30,876人であり、1,637人の需給ギャップが生じると推計されている。 | |
| | アウトカム指標：県内の介護職員数27,818人(平成29年度)を令和2年度までに32,513人にする。 | |
| 事業の内容(当初計画) | 福祉・介護職場に就労を希望する離職者、中高齢者、若者等を対象に介護職員初任者研修等を実施するとともに、福祉・介護職場への就職を支援する。 | |
| アウトプット指標(当初の目標値) | 介護職員初任者研修等を4回開催し、受講者を140名とする。研修参加者のうち就職者数100名とする。 | |
| アウトプット指標(達成値) | 研修を4回開催し、92人が受講した。また、34名が就職へつながった。 | |
| 事業の有効性・効率性 | 事業終了後1年以内のアウトカム指標：県内の介護職員数27,818人(平成29年度)を令和2年度までに32,513人にする。 観察できなかった→統計調査の結果が公表されていないため確認できなかった。代替的な指標として令和元年度の県内の介護職員数28,925人 | |
| | (1) 事業の有効性 92人が研修を受講し、福祉・介護職場へ34名が就職した。 (2) 事業の効率性 職場体験等を合わせて実施することで、就労意欲の向上が図られた。 | |
| その他 | R2 : 16,762 千円 R3 : 12,960 千円 | |

| | | |
|------------------|---|---------------------|
| 事業の区分 | 5. 介護従事者の確保に関する事業 | |
| | (大項目) 参入促進 (中項目) 介護人材の「すそ野の拡大」 (小項目) 若者・女性・高齢者など多様な世代を対象とした介護の職場体験事業 | |
| 事業名 | 【No. 11 (介護分)】 職場体験事業 | 【総事業費】 10,819 千円 |
| 事業の対象となる区域 | 桑員地域・三泗地域・鈴亀地域・津地域・伊賀地域・松阪地域・伊勢志摩地域・東紀州地域 | |
| 事業の実施主体 | 三重県 (三重県社会福祉協議会に委託) | |
| 事業の期間 | 令和2年4月1日～令和4年3月31日 <input type="checkbox"/> 継続 / <input checked="" type="checkbox"/> 終了 | |
| 背景にある医療・介護ニーズ | 介護人材需給推計では、令和2年度の介護職員の需要見込みは、32,513人であるが、供給見込みは30,876人であり、1,637人の需給ギャップが生じると推計されている。 | |
| | アウトカム指標：県内の介護職員数27,818人(平成29年度)を令和2年度までに32,513人にする。 | |
| 事業の内容(当初計画) | 多様な世代に福祉・介護職場を体験する機会を提供し、新たな人材の参入を促進する。 | |
| アウトプット指標(当初の目標値) | 職場体験日数を772日程度とし、参加者を386名程度とする。 | |
| アウトプット指標(達成値) | 体験日数述べ181日、参加者84名であった。 | |
| 事業の有効性・効率性 | 事業終了後1年以内のアウトカム指標：県内の介護職員数27,818人(平成29年度)を令和2年度までに32,513人にする。 観察できなかった→統計調査の結果が公表されていないため確認できなかった。代替的な指標として令和元年度の県内の介護職員数28,925人 | |
| | <p>(1) 事業の有効性 84人が職場体験を実施し、福祉・介護職場への理解促進、就労につながった。</p> <p>(2) 事業の効率性 就労を希望する参加者には、就労支援の実施や資格取得事業を紹介するなどした。</p> | |
| その他 | R2 : 4,545 千円 R3 : 6,274 千円 | |

| | | |
|------------------|--|---------------------|
| 事業の区分 | 5. 介護従事者の確保に関する事業 | |
| | (大項目) 参入促進 (中項目) 地域のマッチング機能強化 (小項目) 多様な人材層に応じたマッチング機能強化事業 | |
| 事業名 | 【No. 14 (介護分)】 福祉・介護人材マッチング支援事業 | 【総事業費】 33,131 千円 |
| 事業の対象となる区域 | 桑員地域・三泗地域・鈴亀地域・津地域・伊賀地域・松阪地域・伊勢志摩地域・東紀州地域 | |
| 事業の実施主体 | 三重県 (三重県社会福祉協議会に委託) | |
| 事業の期間 | 令和2年4月1日～令和4年3月31日 <input type="checkbox"/> 継続 / <input checked="" type="checkbox"/> 終了 | |
| 背景にある医療・介護ニーズ | 介護人材需給推計では、令和2年度の介護職員の需要見込みは、32,513人であるが、供給見込みは30,876人であり、1,637人の需給ギャップが生じると推計されている。 | |
| | アウトカム指標：県内の介護職員数27,818人(平成29年度)を令和2年度までに32,513人にする。 | |
| 事業の内容(当初計画) | 県福祉人材センターにキャリア支援専門員を配置し、求職者と事業所のマッチング支援や、事業所への指導・助言など、円滑な就労・定着を支援とともに、福祉・介護の就職フェア等を開催する。 | |
| アウトプット指標(当初の目標値) | 就職者数250名程度とする。 | |
| アウトプット指標(達成値) | キャリア支援専門員の支援により介護分野に136名が就職した。 | |
| 事業の有効性・効率性 | 事業終了後1年以内のアウトカム指標：県内の介護職員数27,818人(平成29年度)を令和2年度までに32,513人にする。 観察できなかった→統計調査の結果が公表されていないため確認できなかった。代替的な指標として令和元年度の県内の介護職員数28,925人 | |
| | <p>(1) 事業の有効性 キャリア支援専門員の支援により136名が介護事業所等に就職しており、福祉・介護人材の参入促進策として有効な事業である。</p> <p>(2) 事業の効率性 福祉・介護人材確保に関する取組実績や様々な団体とつながりのある福祉人材センターに委託することで、事業を効率的に実施することができた。</p> | |
| その他 | R2 : 0 千円 R3 : 33,131 千円 | |

| | | |
|------------------|---|---------------------|
| 事業の区分 | 5. 介護従事者の確保に関する事業 (大項目) 参入促進 (中項目) 地域のマッチング機能強化 (小項目) 介護に関する入門的研修、生活援助従事者研修の受講等支援事業 | |
| 事業名 | 【No. 15 (介護分)】 介護未経験者への一体的支援事業 | 【総事業費】 14,684 千円 |
| 事業の対象となる区域 | 桑員地域・三泗地域・鈴亀地域・津地域・伊賀地域・松阪地域・伊勢志摩地域・東紀州地域 | |
| 事業の実施主体 | 三重県 (三重県社会福祉協議会に委託) | |
| 事業の期間 | 令和2年4月1日～令和4年3月31日 <input type="checkbox"/> 継続 / <input checked="" type="checkbox"/> 終了 | |
| 背景にある医療・介護ニーズ | 介護人材需給推計では、令和2年度の介護職員の需要見込みは、32,513人であるが、供給見込みは30,876人であり、1,637人の需給ギャップが生じると推計されている。 アウトカム指標：県内の介護職員数27,818人(平成29年度)を令和2年度までに32,513人にする。 | |
| 事業の内容(当初計画) | 退職者予定者に対する退職セミナーや、介護未経験者に対する入門的研修を実施し、福祉・介護分野への参入を促進する。 | |
| アウトプット指標(当初の目標値) | セミナーを13回程度実施し、参加者を150名以上とする。 入門的研修を5回程度実施し、参加者を75名程度とする。 | |
| アウトプット指標(達成値) | 入門的研修(Web)修了者203名 | |
| 事業の有効性・効率性 | 事業終了後1年以内のアウトカム指標：県内の介護職員数27,818人(平成29年度)を令和2年度までに32,513人にする。 観察できなかった→統計調査の結果が公表されていないため確認できなかった。代替的な指標として令和元年度の県内の介護職員数28,925人 (1) 事業の有効性 Web研修としたことで受講しやすくなり、予定を上回る203名が修了した。 (2) 事業の効率性 職場体験、初任者研修、人材登録等を合わせて実施することで、就労意欲の向上が図られた。 | |
| その他 | R2 : 4,656 千円 R3 : 10,028 千円 | |

| | | |
|------------------|---|---------------------|
| 事業の区分 | 5. 介護従事者の確保に関する事業 (大項目) 参入促進 (中項目) 地域のマッチング機能強化 (小項目) 介護福祉士国家資格の取得を目指す外国人留学生等の受入環境整備事業 | |
| 事業名 | 【No. 21 (介護分)】 外国人留学生への奨学金支給に係る支援事業 | 【総事業費】 12,514 千円 |
| 事業の対象となる区域 | 桑員地域・三泗地域・鈴亀地域・津地域・伊賀地域・松阪地域・伊勢志摩地域・東紀州地域 | |
| 事業の実施主体 | 県内の介護事業所等 | |
| 事業の期間 | 令和2年4月1日～令和4年3月31日 <input type="checkbox"/> 継続 / <input checked="" type="checkbox"/> 終了 | |
| 背景にある医療・介護ニーズ | 介護人材需給推計では、令和2年度の介護職員の需要見込みは、32,513人であるが、供給見込みは30,876人であり、1,637人の需給ギャップが生じると推計されている。 アウトカム指標：県内の介護職員数27,818人（平成29年度）を令和2年度までに32,513人にする。 | |
| 事業の内容（当初計画） | 外国人留学生に対し、介護事業所等が学費や生活費などを奨学金として貸与又は給付する。 | |
| アウトプット指標（当初の目標値） | 外国人留学生25人以上に奨学金を貸与又は給付する。 | |
| アウトプット指標（達成値） | 外国人留学生41人に奨学金を貸与 | |
| 事業の有効性・効率性 | 事業終了後1年以内のアウトカム指標：県内の介護職員数27,818人（平成29年度）を令和2年度までに32,513人にする。 観察できなかった→統計調査の結果が公表されていないため確認できなかった。代替的な指標として令和元年度の県内の介護職員数28,925人 （1）事業の有効性 外国人留学生に対し、介護事業所等が学費等を奨学金として貸与することで、介護職場への就労を支援できる。 （2）事業の効率性 奨学金は、学費だけでなく、就職準備金、生活費までを対象とし、外国人留学生を全面的に支援することができる。 | |
| その他 | R2:8,309千円 R3:4,205千円 | |

| | | |
|------------------|--|---------------------|
| 事業の区分 | 5. 介護従事者の確保に関する事業 | |
| | (大項目) 資質の向上 (中項目) キャリアアップ研修の支援 (小項目) 多様な人材層に対する介護人材キャリアアップ研修支援事業 | |
| 事業名 | 【No. 22 (介護分)】 小規模事業所等人材育成支援事業 | 【総事業費】 11,882 千円 |
| 事業の対象となる区域 | 桑員地域・三泗地域・鈴亀地域・津地域・伊賀地域・松阪地域・伊勢志摩地域・東紀州地域 | |
| 事業の実施主体 | 三重県 (三重県社会福祉協議会に委託) | |
| 事業の期間 | 令和2年4月1日～令和4年3月31日 <input type="checkbox"/> 継続 / <input checked="" type="checkbox"/> 終了 | |
| 背景にある医療・介護ニーズ | 介護人材需給推計では、令和2年度の介護職員の需要見込みは、32,513人であるが、供給見込みは30,876人であり、1,637人の需給ギャップが生じると推計されている。 | |
| | アウトカム指標：県内の介護職員数27,818人(平成29年度)を令和2年度までに32,513人にする。 | |
| 事業の内容(当初計画) | 人材の確保・育成・定着の取組が困難な小規模な事業所等を対象に、人材確保・育成・定着についての専門的な助言・指導を行うアドバイザーや職員の資質向上のための研修講師を派遣する。 | |
| アウトプット指標(当初の目標値) | 人材の育成・定着等、専門的な助言・指導を行うアドバイザーを20回程度派遣する。 介護技術の向上等に関する研修講師を120回程度派遣する。 | |
| アウトプット指標(達成値) | アドバイザーを22事業所に、研修講師を74回派遣した。 | |
| 事業の有効性・効率性 | 事業終了後1年以内のアウトカム指標：県内の介護職員数27,818人(平成29年度)を令和2年度までに32,513人にする。 観察できなかった→統計調査の結果が公表されていないため確認できなかった。代替的な指標として令和元年度の県内の介護職員数28,925人 | |
| | (1) 事業の有効性 小規模事業所に対し、アドバイザー派遣や研修を実施し、職場全体の意識・技術の向上やよりよい職場環境づくりにつながった。 (2) 事業の効率性 福祉・介護人材確保に関する取組実績や様々な団体とつながりのある福祉人材センターに委託することで、事業を効率的に実施することができた。 | |
| その他 | R2:5,773千円 R3:6,109千円 | |

| | | |
|------------------|---|---------------------|
| 事業の区分 | 5. 介護従事者の確保に関する事業 | |
| | (大項目) 資質の向上 (中項目) キャリアアップ研修の支援 (小項目) 多様な人材層に対する介護人材キャリアアップ研修支援事業 | |
| 事業名 | 【No. 23 (介護分)】 社会福祉研修センター事業費補助金 | 【総事業費】 20,014 千円 |
| 事業の対象となる区域 | 桑員地域・三泗地域・鈴亀地域・津地域・伊賀地域・松阪地域・伊勢志摩地域・東紀州地域 | |
| 事業の実施主体 | 三重県社会福祉協議会 | |
| 事業の期間 | 令和2年4月1日～令和4年3月31日 <input type="checkbox"/> 継続 / <input checked="" type="checkbox"/> 終了 | |
| 背景にある医療・介護ニーズ | 介護人材需給推計では、令和2年度の介護職員の需要見込みは、32,513人であるが、供給見込みは30,876人であり、1,637人の需給ギャップが生じると推計されている。 | |
| | アウトカム指標：県内の介護職員数27,818人（平成29年度）を令和2年度までに32,513人にする。 | |
| 事業の内容（当初計画） | 社会福祉法人三重県社会福祉協議会の社会福祉研修センターによる資質向上に関する研修の実施に要する経費を補助する。 | |
| アウトプット指標（当初の目標値） | 研修を29回開催し、受講者を1,760名とする。 | |
| アウトプット指標（達成値） | 研修が22回開催され、723名が受講した。 | |
| 事業の有効性・効率性 | 事業終了後1年以内のアウトカム指標：県内の介護職員数27,818人（平成29年度）を令和2年度までに32,513人にする。 観察できなかった→統計調査の結果が公表されていないため確認できなかった。代替的な指標として令和元年度の県内の介護職員数28,925人 | |
| | <p>(1) 事業の有効性 老人福祉施設の職員に対し研修を実施し、資質の向上を図れた。</p> <p>(2) 事業の効率性 三重県社会福祉協議会が実施することで、幅広い研修内容を効率的に実施することができた。</p> | |
| その他 | R2:10,007千円 R3:10,007千円 | |

| | | |
|------------------|---|---------------------|
| 事業の区分 | 5. 介護従事者の確保に関する事業 | |
| | (大項目) 資質の向上 (中項目) 潜在的有資格者の再就業促進 (小項目) 潜在介護福祉士の再就業促進事業 | |
| 事業名 | 【No. 38 (介護分)】 潜在的有資格者等再就業促進事業 | 【総事業費】 12,041 千円 |
| 事業の対象となる区域 | 桑員地域・三泗地域・鈴亀地域・津地域・伊賀地域・松阪地域・伊勢志摩地域・東紀州地域 | |
| 事業の実施主体 | 三重県 (三重県社会福祉協議会に委託) | |
| 事業の期間 | 令和2年4月1日～令和4年3月31日 <input type="checkbox"/> 継続 / <input checked="" type="checkbox"/> 終了 | |
| 背景にある医療・介護ニーズ | 介護人材需給推計では、令和2年度の介護職員の需要見込みは、32,513人であるが、供給見込みは30,876人であり、1,637人の需給ギャップが生じると推計されている。 | |
| | アウトカム指標：県内の介護職員数27,818人(平成29年度)を令和2年度までに32,513人にする。 | |
| 事業の内容(当初計画) | 福祉・介護分野に就業していない介護福祉士等の有資格者を対象に、介護に関する知識や技術を再確認するための研修を実施し、福祉・介護分野への再就業を促進する。 | |
| アウトプット指標(当初の目標値) | 研修を5回開催し、受講者を50名以上とする。 研修参加者のうち就職者数10名以上とする。 | |
| アウトプット指標(達成値) | Web研修及び会場研修を開催し、53人が受講した。また、4名が就職へつながった。 | |
| 事業の有効性・効率性 | 事業終了後1年以内のアウトカム指標：県内の介護職員数27,818人(平成29年度)を令和2年度までに32,513人にする。 観察できなかった→統計調査の結果が公表されていないため確認できなかった。代替的な指標として令和元年度の県内の介護職員数28,925人 | |
| | <p>(1) 事業の有効性</p> 53名の潜在的有資格者に研修を実施し、4名が介護職場へ就職することができた。 <p>(2) 事業の効率性</p> 職場体験やマッチング支援を合わせて実施することで、受講者が不安なく再就職となるよう実施した。 | |
| その他 | R2:6,108千円 R3:5,933千円 | |

| | | |
|------------------|--|--------------------|
| 事業の区分 | 5. 介護従事者の確保に関する事業 | |
| | (大項目) 労働環境・処遇の改善 (中項目) 勤務環境改善支援 (小項目) 雇用管理体制の改善に取り組む事業者表彰事業 | |
| 事業名 | 【No. 54 (介護分)】 働きやすい介護職場応援制度構築事業 | 【総事業費】 9,859 千円 |
| 事業の対象となる区域 | 桑員地域・三泗地域・鈴亀地域・津地域・伊賀地域・松阪地域・伊勢志摩地域・東紀州地域 | |
| 事業の実施主体 | 三重県 (三重県社会福祉協議会に委託) | |
| 事業の期間 | 令和2年4月1日～令和4年3月31日 <input type="checkbox"/> 継続 / <input checked="" type="checkbox"/> 終了 | |
| 背景にある医療・介護ニーズ | 介護人材需給推計では、令和2年度の介護職員の需要見込みは、32,513人であるが、供給見込みは30,876人であり、1,637人の需給ギャップが生じると推計されている。 | |
| | アウトカム指標：県内の介護職員数27,818人（平成29年度）を令和2年度までに32,513人にする。 | |
| 事業の内容（当初計画） | 勤務環境の改善に取り組んでいる事業所に証明書を交付して公表することで、介護職場のイメージアップを図り、新規参入促進・定着を支援する。 | |
| アウトプット指標（当初の目標値） | 宣言を15事業所が実施。 | |
| アウトプット指標（達成値） | 22事業所が取組宣言を行った。 | |
| 事業の有効性・効率性 | 事業終了後1年以内のアウトカム指標：県内の介護職員数27,818人（平成29年度）を令和2年度までに32,513人にする。 観察できなかった→統計調査の結果が公表されていないため確認できなかった。代替的な指標として令和元年度の県内の介護職員数28,925人 | |
| | <p>(1) 事業の有効性 職場環境の改善に積極的に取り組む介護事業所の取組を広く公表することで、介護人材の確保とサービスの質の向上を促進した。</p> <p>(2) 事業の効率性 宣言事業所の取組をHPなどで広く公開することで、働きやすい職場づくりに取り組む事業所を周知し、参入促進と定着支援を図った。</p> | |
| その他 | R2:5,225千円 R3:4,634千円 | |